

## 気象学会理事会への要望書

日本気象学会理事長 殿

B 会員 柳 井 迪 雄

(所属：東京大学理学部・気象研究所台風研究部)

第14期理事会の成立にあたり、一会員として次のこと  
がらを強く要望するものである。

1. 成立にあたり全国理事会を招集し、今期の主要課題  
を充分討論すること。

課題：

- a) 気象学長期計画の推進
- b) WWW (World Weather Watch) 及び GARP  
(Global Atmospheric Research Programme) への  
本格的取組みと広報活動。
- c) 現行の会員制度を廃止し、
  - ・ 専門会員 (現在のB会員)
  - ・ 学生会員 (大学院学生であって気象集誌・天気  
双方を購読する者に限る)
  - ・ 一般会員 (現在のA会員)
  - ・ 外国人会員 (気象集誌のみ購読する者)
 を設ける。学生会員の会費は現行の A, B 会員の中間。

- d) 理事会を全国組織に改編し、地区制を廃止する。  
(現在の評議会は廃止する。)  
理事の被選挙権は専門会員のみが有するものとし、  
その選挙は適当な指名委員会を全国の専門会員の投票  
により設け、指名委員会の推せん者名簿の中から  
専門会員、学生会員の投票により行うものとする。
- e) 気象集誌 (以下ジャーナルと呼ぶ) の国際的権威  
を確立するため、編集長は国際的感覚に富んだ学識  
経験者を理事会の指名により任命する。編集委員は  
全国の大学、研究機関より第一線研究者 (約8名)  
を編集者が任命する。
- f) 天気は一般会員の水準向上、学生会員の啓発を主  
な目的とし、例えば Bull. Amer. Meteor. Soc. の  
ように国際的な研究の動向、総合報告、専門書の書

評 (評者にはその本を無料配布する) 等を行い、ま  
た日本語のすぐれた論文をのせる。

- g) 気象研究ノートは大学院学生の教科書とできるよ  
うな権威のあるもののみをのせる。またジャーナル  
にのせ切れない長い論文をのせる。
  - h) 広告等収入の増加を図り、貧困な財政方針を打破  
すること。
  - i) 事務局長、会計、秘書 (外国会員事務、英文論文  
校正、原稿点検等) より成る事務局を確立するこ  
と、これにより研究者の負担を軽減する。
  - j) 地球物理学研究連絡委員会気象分科会との協議に  
より、日本における研究者の気象庁に対する勧告機  
関を設け、IUGG-WMO のような研究者と行政官庁  
との意志疎通に努力する。WWW-GARP の推進に  
はこれは不可欠である。
  - k) 学会誌への投稿を各研究機関、特に気象庁に対し  
て奨励し、気象庁が別刷代を負担するようにする。
2. 今期中に以上に伴い必要な定款、細則の改正を準備  
する、早い程良い。
  3. さしあたり、全国理事会が気象学会の最高議決機  
関であり、常任理事会はその下部執行機関であることを  
再確認して今期の学会運営にあたる。ジャーナルの編  
集部は直ちに全国的なものに改編する。天気の編集部  
に有能なニュース担当者を加える。気象研究ノートの  
編集部は経験ある指導的研究者に変える。 以上

この要望書は、その趣旨に賛成する65名の会員 (個々  
の項目については異論または条件付を含む) の署名とと  
もに、柳井会員から理事長に提出された。なお、この要  
望書の内容についての意見を、多数の会員から天気編集  
委員会宛に寄せられるよう希望する。